

和気町教育委員会

【開催年月日】 令和元年9月26日（木）

【召集の場所】 佐伯庁舎 町民室
午前9時30分開会

【出席者】

教育長	徳永 昭伸
委員	有正 省三
委員	齊木 孝
委員	安藤 知春
委員	國友 道一

【事務局出席者】 万代教育次長・藤森学校教育課長・則枝社会教育課長・
國定学校教育課長代理

【付議した議案】

議案第10号	令和2年度使用義務教育諸学校教科用特定図書採択について
議案第11号	和気町立幼稚園保育料減免に関する規則を廃止する規則について
議案第12号	和気町立幼稚園給食費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

【その他】

- ・9月議会定例会の報告について
- ・令和元年度全国学力・学習状況調査結果について
- ・岡山県市町村教育委員会委員研修会（ピュアリティまきび）
- ・園・学校訪問
- ・学校給食共同調理場等視察

審議の記録（一部要約）

開会時刻 午前9時30分開会

徳永教育長 開会挨拶につづき、議事録署名委員に職務代理者有正委員と齊木委員を指名した。

7月25日以降の教育長諸般報告を行った。

【議事】

徳永教育長 議案第10号「令和2年度使用義務教育諸学校教科用特定図書採択について」に

について事務局に説明を求めた。

藤森学校教育課長 拡大教科書について採択理由を説明した。

徳永教育長 説明について意見・質問を求めたが、特になく全会一致で承認された。

続いて、議案第11号「和気町立幼稚園保育料減免に関する規則を廃止する規則について」、議案第12号「和気町立幼稚園給食費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について」事務局に説明を求めた。

万代教育次長 両議案は幼児教育の無償化に伴う変更で、議案第11号は幼稚園保育料が無償となり保育料減免が不要となることから廃止する旨を説明した。議案第12号は幼稚園給食費の補助金交付要綱で、対象を幼稚園からにこにこ園とし、附則で和気町独自施策の第2子による保育料半額規定により令和元年10月1日から保護者負担が増額する見込みがある方を対象に、その対象園児が卒園するまでの間、差額を助成する旨を説明した。

徳永教育長 説明について意見・質問を求めたが、特になく全会一致で承認された。

【その他】

徳永教育長 「その他」について事務局に説明を求めた。

万代教育次長 9月議会定例会の教育委員会案件について資料により報告した。

徳永教育長 報告について意見・質問を求めた。

國友委員 議案第88号の中で、宿泊体験授業補助金があるが、これは県が3泊4日の宿泊体験を進めているがその補助金か？

万代教育次長 県補助事業は本年度から無くなった。この補助金は国庫補助金であると回答。

國友委員 和気町は3泊4日の宿泊体験を今年度も実施しているのか。

藤森学校教育課長 今年度から本荘小・佐伯小は2泊3日で実施している。

有正委員 にこにこ園での行事において、配慮や準備を考えると職員の仕事量が大変多いと思われる。配慮しすぎな過剰な業務やより良い行事をしようと、ビルド&ビルドになっているのではないのか。イベントの在り方も考えるべきでは。英断を持って事業の精選をお願いしたい。

藤森学校教育課長 その通りと感じている。指導もしているが、これまでのことを変える怖さが管理職にはあるのだろうと感じている。例えば、地域の方もしくは保護者の方として意見される事も効果的なことと思っている。是非、色々な方面から直接ご意見を言ってもらうのも良いのではと思う。

有正委員 古すぎる。オーバーワークと思う。

徳永教育長 今年度は昨年度の課題を踏まえ、年度当初からにこにこ園の指導を行っている。保育園と幼稚園との壁があるのも事実で、少しでもその壁を取り除く事を心がけている。

齊木委員 幼保の給食費の無償化において、15市町村が国基準以上に補助をしていると新聞にはあるが、どのような補助をしているのか。

万代教育次長 国基準以上に助成している中で、一番多い内容は第3子の取り扱い基準で、国は第1子が小学生3年以下の世帯を対象としているが、それを撤廃している。

それ以外では給食費の完全無償化か、副食費のみを無償化にする3つのパターンがある。

齊木委員　　これだけ国基準を超えて補助している市町村がいる中で、それをしない理由も難しいと思える。

徳永教育長　　近隣市町を確認し、現段階では国基準に基づくことを決定したが、その後このような新聞記事が出たのが現状です。ただ、これは給食費だけのことで、和気町では1歳～2歳保育料を6,200円減額する独自施策はまだ残っている。他市町村に先駆けて子育て支援施策を実施してきた。国の考え方は保育園等に通っていない家庭で生活している子どもにおいても必要経費という考え方である。

有正委員　　基本の考えを大事にすべき。ただ無償化にすれば良いとの考えでは駄目だと思う。

徳永教育長　　幼児教育の無償化では無く、子育て支援施策としてどのような支援が良いのかという考えで、議会でも答弁している。

國友委員　　和気閑谷高校への支援について、県立高校に対する和気町の支援の考え方は？和気町が地域起こし協力隊を派遣していることも例外的措置だと思うが。

徳永教育長　　町内に県立高校が存在するという事は、和気町の活性化において重要であり、駅前のにぎわい創出にもなる。教育のまちをスローガンに取り組んでいる当町にとって、にこにこ園から高校までが町内にあり一貫した活動ができる事は和気町にとって意義がある。学校からの要望に応じて可能な範囲で支援をしている。

國友委員　　経費的な面での支援は難しいですね。

徳永教育長　　例えば、専属の英語教師（ALT）を町費で雇い、派遣することは難しい。和気高校内へ公営塾を設置し協力隊員を配置することを考えていた。

國友委員　　神崎議員はALTを和気閑谷高校へ派遣できないのかと言っているようだが。

徳永教育長　　専属の英語教師（ALT）を町費で雇い、派遣することは難しいのであれば、町内で雇用しているALTの空き時間を利用して、放課後の英語クラブ等の支援に入れないかと言われている。何処まで対応できるかは今後の話し合いによる。

則枝社会教育課長　　園・小・中と英語教育に力を入れ、魅力化を進めている。町内にある和気閑谷高校も英語に特化した授業メニューを行うなどすれば、町内中学生の和気閑谷高校への進学を増やすことができるのではとの思いがあるみたいです。

國友委員　　是非そうして頂けたらありがたいと思う。

徳永教育長　　そういったこともあり、イングリッシュキャンプなどでは高校生が企画運営し、中学生が参加している。社会教育の中で中高の連携を取りながら活動ができていていると思っている。

また、来年度から全国募集が12人となる関係で、寮についても言われているが、県立高校の施設を町が建てることは無理なので、例えば空いている小学校を利用するなどであれば考えられないこともない。

國友委員　　和気町の議会でこのような質問が出ても、町としては明確な回答はできないと

思われる。

- 徳永教育長 連携を取りながら可能な範囲で支援をしていきたいと回答するしかない。
- 國友委員 次に居樹議員の質問、米飯給食について、現在の回数は？
- 万代教育次長 国は週3回以上を推進しており、当町では週3回。参考までに県平均では、米飯3.27回、パン1.23回、麺0.5回。
- 國友委員 アレルギー対応にも米飯が良い。
- 徳永教育長 PTA代表や学校栄養士等で構成されている学校給食献立委員会に今回の質問内容についても報告をし、米飯給食の在り方について検討をしていただくと回答している。また、保護者による試食会も実施している。
- 國友委員 佐伯学校給食共同調理場については、本荘学校給食調理場から持って行くと決定しているのか。
- 徳永教育長 まだ決まっていない。条例変更もあり議会の議決が必要となるもの。
- 國友委員 そういう方向で検討しているということですか。
- 徳永教育長 以前から課題としてあったことで、そういう方向性で検討している。その他に意見・質問を求めたが特になく、続いて「令和元年度全国学力・学習状況調査結果報告」について、事務局に説明を求めた。
- 國定学教課長代理 令和元年度全国学力・学習状況調査について資料により報告した。
- 徳永教育長 報告について意見・質問を求めた。
- 有正委員 今の報告の中で、どの辺りが特に問題なのか。
- 國定学教課長代理 1時間以上の家庭学習割合が高くないことと、小学校より中学校の方が家庭学習時間は延びていくのが一般的だが、和気町ではそれが逆転している。
- 有正委員 理由は。
- 國定学教課長代理 色々な理由があるが、家庭ではなく休み時間を利用しているとか、要領が良くなったとか、部活動で家庭学習の時間が確保できないなどが考えられる。また、各学校での宿題の量とかは把握していないが、時間が長ければ良い訳ではないので、宿題の内容も併せて各学校の中で協議している。
- 有正委員 宿題の内容は各学校で協議して頂き、家庭や地域の課題を踏まえ教育委員会として家庭学習などの学力向上を阻害している課題は何か。
- 國定学教課長代理 小学校の時に身に付いている家庭学習の習慣が、中学生になった年度当初段階で途切れている。中学校のスタートの段階は、まだ教科書で習っていないこともあり、宿題の出し方が課題となっている。
- 國友委員 部活動との関係は。
- 國定学教課長代理 昨年度運動部活動の在り方に関する方針、今年度文化部も含めた町の方針を作成しているところです。平日は2時間程度、休日も3時間程度、週2日は休業日を設ける事を方策としている。部活動の負担感は徐々に減ってきている。
- 國友委員 個々の生徒にアンケートをとってみては。またその対策が必要では。
- 徳永教育長 調査のタイミングにもよるところがある。また、宿題の在り方や個々の生徒に応じた宿題を出すなど対策が必要と考えている。また学校によってはつまり

たところへ戻った学習支援をしている。

國友委員 平均数値だけで協議するのではなく、分布を取ることで見えてくることもある。

有正委員 個に応じた又は進路に応じた対応が必要で、各々の学習の考え方も違う。一律に同じ宿題という時代ではないと思う。学校自体の学習指針も改革が必要な時である。

徳永教育長 校長会の中でも検討をしていきたい。

國友委員 入試の改革まで含めて、生徒が自主的に教育に取り組めることが望まれている。義務教育は底辺の基礎学力をきちっと付けていくことが必要な中、新しい時代に対応した教育の在り方との狭間で、義務教育の改革は難しいところを迎えている。

徳永教育長 県が学習のスタンダードを作成し、それに基づき授業を変えることに取り組んでいる。

齊木委員 子どもの学習意欲は何から出てくるのか。

藤森学校教育課長 楽しいと感ずること。知的好奇心をくすぐることと考えている。

徳永教育長 他に意見・質問等がないか確認をし、その他の項目について事務局に説明を求めた。

万代教育次長 岡山県市町村教育委員会委員研修会の日程を説明し、3分会での研修の分会希望を確認した。また、國友・有正委員は直接、有正・安藤委員は集合場所を本庁舎ロビー12時30分とした。

藤森学教課長 教育委員さんによる学校・園訪問の日程を報告し、参観を希望する場合は事前連絡が必要なことを報告した。

万代教育次長 次回教育委員会の開催を10月31日（木）午後1時から開会とし、終了後佐伯・本荘学校給食調理場の視察を行うことの了解を得た。

徳永教育長 閉会あいさつにて散会。

閉会時刻 午前11時30分

議事録署名

教育長職務代理者 有正 省三

委 員 齊木 孝

教 育 次 長 万代 明